

東京都千代田区内エスカレーター事故調査報告書(概要)

事故の概要

社会資本整備審議会 昇降機等事故調査部会

【事故の概要】

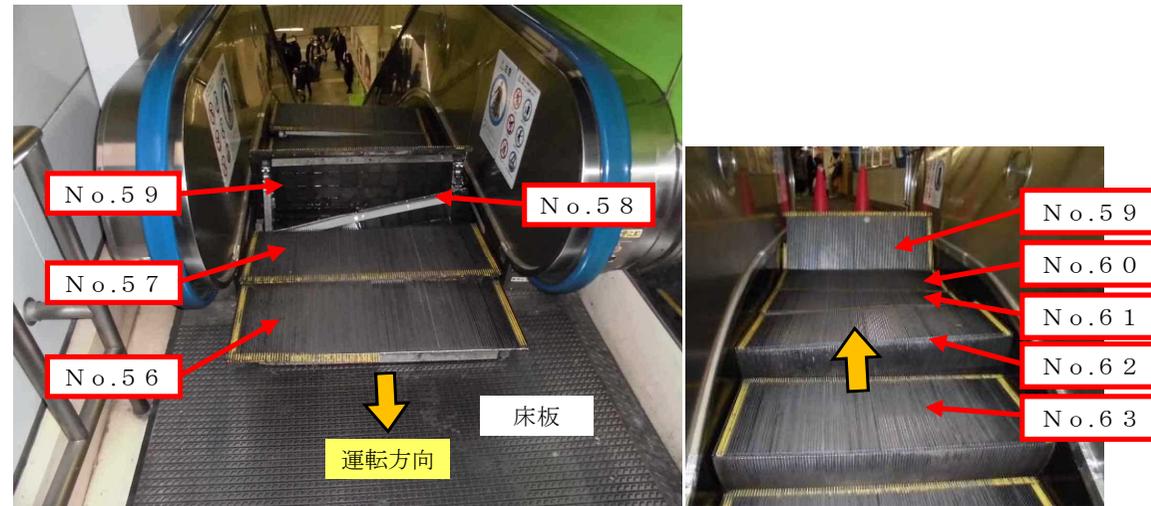
- 発生日時：平成27年12月16日(水) 17時35分ごろ
- 発生場所：東京都千代田区 JR東日本水道橋駅 2番線上りエスカレーター上側降り口
- 事故概要：踏段が降り口のくし歯に衝突したことにより、踏段が後続のものを含み連続して破損するとともに、非常停止した。(被害者なし)

【エスカレーターの概要】

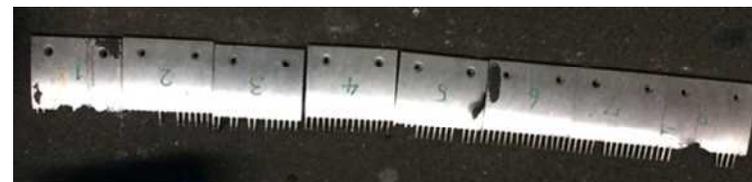
- 製造会社：フジテック株式会社
- 定格速度：30m/分
- 揚程：5.95m
- 設置年月：平成10年3月(建築基準法適用対象外)
- 保守会社：フジテック株式会社
- 直近の保守点検日：平成27年12月11日

【事実情報及び分析】

- 9段の踏段が破損し、No.56, 57は踏板部分のみが床板の上に押し上げられ、最初にくし歯と衝突したNo.55は床板下に停止していた。
- 8枚すべてのくし歯が破損していた。
- 床板付近に直径約12.7mmの異物が落ちており、踏段破損部の変形とほぼ符合する形状であった。
- 押さえレールと前輪の隙間が設計値より大きくなっていたため、踏段がくし歯と接触する高さまで浮き上がる可能性が確認された。



事故直後の状況



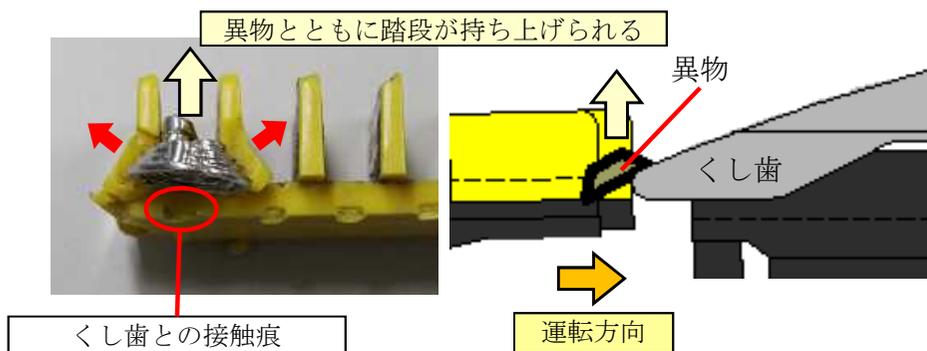
くし歯の破損状況



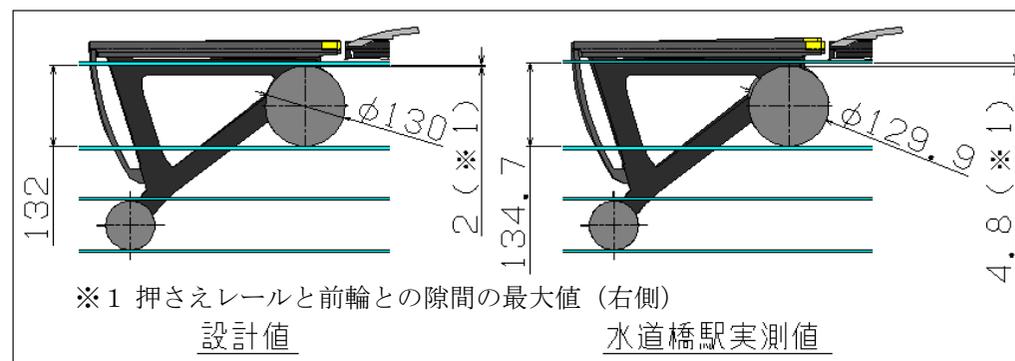
異物(金属製)

原因

- 本事故は、踏段がくし歯に衝突したことにより、踏段が後続のものを含み連続して破損するとともに、非常停止したものである。
- 踏段がくし歯に衝突したのは、異物(エスカレーターの部品ではないもの)が踏段と踏段の隙間に入り込んだ状態でくし歯に衝突した際に、押さえレールと前輪の隙間が設計値よりも大きくなってしまったため、踏段を持ち上げる方向の力を押さえることができず、踏段がくし歯に衝突する位置まで持ち上がったためと考えられ、踏段の破損は後続の踏段が玉突き状態で衝突した際の衝撃によるものと推定される。
- 押さえレールと前輪の隙間が設計値よりも大きくなってしまったのは、製造時及び設置時における当該隙間寸法の品質管理が適正になされていなかったためと考えられる。(隙間の設計値 2mmに対し、4.8mmであった)



異物とくし歯の衝突



押さえレールと前輪との隙間

意見

- 国土交通省は、関係団体を通じて、エスカレーターの製造者に対し、製造時及び設置時において踏段の車輪と押さえレールの隙間寸法等の品質管理が適切に実施されているか、また、既設エスカレーターにおいて踏段とくし歯が衝突するおそれのある状態になっていないかについて点検を行うよう指導すること。